

夢気球だより

「夢気球だより」編集部 発行
〒610-0121
城陽市寺田西ノ口7-4西邦ビル2階
城陽市国際交流協会内
電話 0774-57-0713



(左) 胡さん (中央) 渋谷さん (右) 伏見さん

教室紹介

Vol.1

今回は、日曜日に「ぼれつとJOYO」で開かれている日本語教室です。学習者は「胡さん」、支援者は「伏見さん・渋谷さん」です。紹介文は「胡さん」と「伏見さん」からのもので、胡さんのそれは御自身が書かれたものです。(編集部)

皆さん、初めまして、胡偉洪と申します。2年前に若いうちに、見聞を広くするために、希望と期待を持って、実習生として、日本にやってきました。最初、仕事が大変でなかなか慣れませんでしたが、そして、職場で日本語はあまり使わないです。しかし、日本語の勉強、日本の文化と風俗には強い関心と興味を持っていました。どうしても日本語の会話能力を身に付けたいです。その内に、城陽市国際交流協会のおかげで、「夢気球」と言うボランティア団体を見つけて、優しい先生達と会いました。先生はわざわざ「城陽ぼれつと」と言う教室を借りてきて、私の日本語レベルによって、

いろいろな資料を用意してくださって、社会見学として、和食を食べたり、餅つき大会、祭り等イベントに参加したり、カラオケへ行ったり、面白くて楽しい授業です。先生達と会って、心から本当に良かったと思います。半年に渡る城陽ぼれつとでの勉強において、私はいろいろな知らないことを勉強させていただきました。先生のご支援を励みに、今、日本語能力試験の1級をチャレンジしています。精いっぱい日本語が上達するように頑張っています。日本語に興味を持って人とお互いに習いましょう。(胡記)

日本語を教えるのは難しい。半年程度日本語を教えるのは、新聞記事やクロスワードパズルなどを使用しているが、普段何気なく使っている単語や言い回しには、説明が難しいものも多い。新聞記事に、「仁義なき戦い」が登場した。「仁義」を辞書で調べると、「仁と義。儒教道徳の根本理念」とある。教える方も理解できない。又、クロスワードパズルには、「まっぼっくり」が登場した。言葉では説明し難く絵に描いて説明したが、崩れたブドウのような作品を見た彼の疑問は深まるばかり：.....

そのような場合は渋谷さんにフォローしていただき、事なきを得ている。「仁義なき戦い」、「まっぼっくり」.....変わった言葉が多いような気がしますが、まじめな彼はそれをノートに書き写す。何年か経った後、彼はノートを返して何を想うだろうか？(伏見記)



6月2日開催

第2回「夢気球」総会

2012年6月2日(土) 10時〜12時過ぎまで、14名の出席を得て開催されました。定期総会に続き自由討議を行い、活発な意見交換の場となりました。

規約の改正等について
夢気球発足より約9カ月が経過し活動を続ける中で、運営委員会での検討により、現状に即した内容に変更しました。採決等は実施していませんが、メンバー各位におかれては承認をお願い致します。又、配布又は送付しました文書については2年度役員との連絡窓口を参照の上お問い合わせ下さい。

意見交換の場について
（要望）マッチングの際は、可能な限り学習者の情報がある方がベター。事前情報が異なっている場合もあつた。（担当）ご意見の通りなので、今後実行します。（意見）学習者のニーズに答える為にはアル、日本語検定1級にチャレンジする程の実力があつた。母国は日常漢字が使用されている中国である。お陰さまで、私の日本語教育に関する薄い知識や稚拙な技術でも何とかあつている。

共担当されている渋谷さんのお陰でもあつた。色んなイベントに誘っていただき、彼（受講者）と参加し楽しんでいる。授業は2時間程度、時節の話題について雑談していることが多い。幸い(?) ボランティア養成講座で学習した文法は登場しない。彼の日本語能力からすると彼の方が詳しい。何年か経った後、彼はノートを返して何を想うだろうか？(伏見記)

（参加者）非常に難しい問題をはらんでおり、適切ではないだろう。常に学習者との話し合いにより解決する方法が良いだろう。（意見）支援者が複数の場合の実施方法は？（支援者）全員での話し合いが大事で、そうしている内に解決策は出てくる様だ。（役割）分担ができてくる。（その他）「夢気球だより」は、概ね好評で寄稿は大歓迎（編集長）・ボランティアである事を常に念頭に置いておくこと。「国際サロン」の休日開催は実行予定。

Rings
Ringsは創立10周年を迎えるが、より活性化を図る為に「夢気球の関与」を従前以上にお願いしたい。支援者間の情報交換の場をもう少し密にしては？（村上記）

第4回 国際サロン

「中国の断面を身近に感じて」

サロンを開催し、10人の参加者で気軽に話し合いました。（語学講座の方1名も）
薛菌さんが、親の事情で上海からずっと離れた内陸地域に住んでいたということも話され、中国の広さと共に現代史の一端を身近に感じとりました。中国大陸の地図で示される一層、その国土の大きさ（日本の25倍）を感じとりました。しかも、その中で、56の民族が共存しているという事です。
日本では、理解しがたい戸籍制度（農村と都市）の壁が歴然とあ

ることなどもお聞きしました。日本に来て、「弁当」の存在を初めて知ったこと、日本の学校では、教師があまりにも子どもと一体化していることなど（中国での教育の厳しさ）、チクリとその様子の違いの指摘もありました。「中国の方の会話の声の大きさは、なぜ」といった話題もありました。中国の多様さについて語れば止めどもなく続きます。
なんとといっても、多文化共生は、お互いの生活や文化の違いを知ることから一歩が始まると思います。今回は、多様な中国の生活や制度などについて興味津々に耳を傾けました。じかに関係の方のお話をお聞きすると、外国の文化がより身近に感じることができま

待合室

【とまとはなし】
十年ほど前のこと。作成中の私のプレゼンの中ひらがなの「とまと」の文字を見た農大卒の若手社員が私の耳もとで「カタカナでトマトですよ」と言った。ひらかなで書いた方がそれらしいだろうか？と私は応じたが、彼女は不満げに口をとがらせた。少なくとも私にはそう見え



発行にあたって
第三号をメンバーの手元にお届けすることが出来、編集部一同胸を撫で下ろしています。「夢気球だより」の紙面を通じメンバー相互の交流の場になれば良いと思います。ちよつとした短い文章から、大作まで投稿をお待ちしています。紙面の都合上添削をさせていただきますが、基本記事は原文のまま載せさせていただきます。（匿名は遠慮下さい）（編集担当 西山）

投稿先
niciyama0323
@gaia.eonet.ne.jp



運営委員会
「もしもし.....さんですか。日本語教室の面接ですが.....」学習を申し込んだ外国の方にマッチングで連絡の電話をかける時は緊張と期待の瞬間です。日本語の勉強をしたい方に日本語で面接や約束を説明するのですから、不思議な

ことです。月日や時刻は和風英語を使うこともありませんが「面接」は英語で「インタビュー」と言うことを先日初めて知りました。けれども、今まで意味が通じないことは一度もありません。それも電話で！お互いに伝え合おうとする意志があれば、言葉の壁はそう高くはないのです。 (マッチング担当 片岡敬愛)